＜記載様式＞

2018「神戸から学ぶ」私の感想　概要報告

2018年　1 月 31　日

氏名（会員番号）	02　池田　邦昭	参加回数	数　回目
参加した場所 （番号に〇印）	参加者：相原夫妻・池田・上原・植山・荏本・片山・早川・山田（美）さん計9名 Ⅰ阪神淡路大震災関連： ①　神戸市役所 ②　人と防災未来センター ③　神戸県立大学：青田先生の講演　・　同　大学院生との意見交換 ④　神戸南京町の懇親会 ⑤　1．17つどい（慰霊のつどい） ⑥　阪神高速（株）震災保管庫解説・見学　　移動　湯浅城宿泊　7名 Ⅱ稲村の火関連：サイクルまち歩き ⑦　「稲むらの火の館」：・津波防災教育センター　・濱口梧陵記念館 ⑧　国の史跡：広村堤防：現在の防波堤 ⑨　濱口梧陵関連：感恩碑・銅像等 ⑩　広八幡神社：梧陵濱口君碑（勝海舟撰文並題額）　：稲むらの火祭 Ⅲ　その他各種資料・新聞等		
今回の概要	1．今回も皆様のご協力で、無事神戸1．17慰霊のつどいに参加することが出来ました。17日の早朝は温暖な雨模様でしたが、慰霊のお話は大変印象に残りました。 2．16日は、神戸市危機管理センター防災展示室を見学し、防災グッズ・ゲーム・広報資料等お話をお聞きしました。 その後、山田（美）さん紹介の、兵庫県立大学青田先生よりお話を聞くことができました。青田先生より文系大学院の皆さんのご紹介がありました。皆さんの多彩な経歴に驚かされました。今後の皆さまのご活躍を期待したい。 夜は南京町で、今回参加者全9名と青田先生となごやかな懇親会。 例年の松山先生・昨年お世話になりました近藤先生にはお会いできませんでした。早川さんより近藤先生に、石塚さん編集講座CDをお渡ししました。 3．17日の慰霊のつどい後、阪神高速（株）の震災保管庫を見学しました。 予約制ですが、2名のOB社員が被災時の巨大な震災遺構のぶつ切りを、ひとつひとつ丁寧に説明してくれました。荏本先生絶賛の遺構施設です！ 電車で、大阪を経由して和歌山県湯浅町の湯浅城に7名宿泊。 4．18日、湯浅駅前で無料自転車を借り、隣の広川町の「稲村の火」で有名な広村堤防そして稲むらの火の館：①津波防災教育センター　②濱口梧陵記念館を巡りました。館は湯浅駅前からサイクルで10分ほど、子供から大人まで、津波防災教育に活かされています。津波の話のルーツは、怪談で有名な小泉八雲であることに脅かされました。広八幡の梧陵濱口君碑（勝海舟撰文並題額）も必見です。 「稲むらの火」のその後に関係する、醤油関連の施設等は次回への課題となりました。車中で皆さんと歓談しながら、夫々帰宅の途に。 5．今回の多彩な体験を、今後の減災活動に役立つよう努力を続けたい。 追：近藤先生との調整・宿泊手配・会計面等早川さんお疲れさま。 急用で不参加の田中（喜）さんレポート協力感謝します		